

石川県立小松工業高等学校 機械システム科

学校基本情報（令和8年5月1日現在）

設置学科	機械システム科	在籍生徒数（全校生徒数）	217人（597人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1年 実習を通して機械技術の知識や安全について学習する。 2年 図面の読み取りや機械加工について専門的に学習する。職場実習(インターンシップ)により生産現場を体験する。 3年 専門教科の学習や実習に加え、機械加工技術について専門技術者に意見を聞きアドバイスを受けて学習する。 長期型企業実習(デュアルシステム)に参加し、ものづくりに関わる職業観を育成する。			
○学校行事			
(1学期) 遠足、新体カテスト、壮行式(総体・総文・野球部等)、工場見学、球技大会 (2学期) 体育祭、修学旅行、インターンシップ、マラソン大会、工業祭、球技大会 (3学期) スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
(運動部) 陸上競技・卓球・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・山岳・バドミントン 柔道・弓道・ソフトテニス・テニス・ウエイトリフティング・ボウリング・少林寺拳法・野球 (文化部) 新聞・美術・放送・吹奏楽・茶道・インターアクト・将棋 (工業部) 機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
(令和7年度卒業生の主な進路先) 就職: ㈱板尾鉄工所、加賀東芝エレクトロニクス㈱、北川ヒューテック㈱、㈱共和工業所、小松ウオール工業㈱、コマツ産機㈱、小松シャリング㈱、㈱小松製作所栗津工場、コマツ物流(株)中部物流部、㈱小松村田製作所、㈱コマテック、コマニー㈱、ジェイ・バス(株)本社小松工場、澁谷工業㈱、大京㈱、大同工業㈱、㈱東振精機、㈱東振テクニカル、東レ㈱石川工場、㈱トランテックス、長津工業㈱、西日本旅客鉄道㈱、北電テクノサービス㈱、村田機械㈱加賀工場、トヨタ自動車㈱、伏木海陸運送㈱、石川県警、自衛隊 進学: 金沢学院大学、金沢工業大学、湘南工科大学、名古屋経済大学、金沢科学技術高等学校、金沢情報ITクリエイター専門学校、国際航空専門学校、トヨタ名古屋自動車高等学校、専門学校ファースト学園金沢校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none">ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none">全科目のうち専門科目の割合は、1年（24%）2年（55%）3年（62%）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41%）3年（48%）となる。専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none">専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 電気科

学校基本情報（令和8年5月1日現在）

設置学科	電気科	在籍生徒数（全校生徒数）	186人（597人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1～2年「電気回路」電気に関する基礎的な知識と計算方法について学習する。 1～3年「工業技術基礎」「実習」電気計測・電子計測・電気工事・電子工作・プログラミング等実習を行う。 3年「課題研究」電気・電子・情報に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
(1学期) 遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、球技大会 (2学期) 体育祭、修学旅行、インターンシップ、マラソン大会、工業祭、球技大会 (3学期) スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
(運動部) 陸上競技・卓球・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・山岳・バドミントン 柔道・弓道・ソフトテニス・テニス・ウェイトリフティング・ボウリング・少林寺拳法・野球 (文化部) 新聞・美術・放送・吹奏楽・茶道・インターアクト・将棋 (工業部) 機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
(令和7年度卒業生の主な進路先) 就職: EIZO サポートネットワーク(株)、JR 西日本電気テック(株)、TOPPAN エレクトロニクスプロダクツ(株)石川工場、(株)家守、イオンディライト(株)北陸信越支社、(株)石野製作所、(株)今出電気商会、(株)小田電気商会、加賀東芝エレクトロニクス(株)、(株)柿本商会、(株)金沢村田製作所、共和産業(株)、(株)小松製作所栗津工場、(株)小松村田製作所、桜田電気工事(株)、ジェイ・バス(株)本社小松工場、シグマ電機(株)、第一電機工業(株)、竹内電気工事(株)、東亜電機工業(株)、東海電設(株)、(株)東振テクニカル、東京ドロウイング(株)CADセンター、鳥羽システム(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)、(株)鳴和電気商会、(株)根上シブヤ、(株)富士精工本社、(株)北陸エレテック、(株)ほくつう、(株)ホテルゆのくに、北電テクノサービス(株)、北陸電気工事(株)、北陸電気システム(株)、北陸電気保安協会本部、北陸電力(株)、三谷産業コンストラクションズ(株)、村田機械(株)加賀工場、山口電設(株)、米沢電気工事(株)、ライオンパワー(株)、関西電力送配電(株)、自衛隊 進学: 大阪学院大学、金沢工業大学、中部大学、名城大学、石川県調理師専門学校、金沢科学技術大学校、日本工科大学校、北陸職業能力開発大学校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none">ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none">全科目のうち専門科目の割合は、1年（24%）2年（55%）3年（62%）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41%）3年（48%）となる。専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none">専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことのできる生徒。

石川県立小松工業高等学校 建設科

学校基本情報（令和8年5月1日現在）

設置学科	建設科	在籍生徒数（全校生徒数）	99人（597人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1年 建設業に関する基礎的な知識と技術について学習する。建設業協会と連携して学習する。			
2年 建築・土木の各専門教科を学習する。次年度建築コース土木コースに分かれる。地域建設業の企業と連携し体験学習する。			
3年 建築・土木の先端技術である3D設計データの作成運用を協働して総合的に学習する。			
○学校行事			
(1学期) 遠足、新体カテスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、球技大会			
(2学期) 体育祭、修学旅行、インターンシップ、マラソン大会、工業祭、球技大会			
(3学期) スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
(運動部) 陸上競技・卓球・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・山岳・バドミントン 柔道・弓道・ソフトテニス・テニス・ウエイトリフティング・ボウリング・少林寺拳法・野球			
(文化部) 新聞・美術・放送・吹奏楽・茶道・インターアクト・将棋			
(工業部) 機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
(令和7年度卒業生の主な進路先)			
就職:石川建設(株)、石黒建設(株)、一松建設(株)、(株)ウエストサークル、(株)江口組、加越建設(株)、(株)梶谷建設、上西鉄筋工業(株)、(株)建設マネジメント北陸西、(株)シモアラ、(株)柴田鉄筋、太陽工業(株)、(株)高木組、高藤建設工業(株)、(株)トーケン、(有)任田リース、中島建設(株)、日樽建設工業(株)、白山建設(株)、北陸基礎工業(株)、松浦建設(株)、(株)丸西組、(有)宮田建設、(株)向出組、本建設工業(株)、横山建設(株)、(株)吉光組、石川県総合土木			
進学:北陸大学、石川県理容美容専門学校、金城大学、国際医療福祉専門学校			

3つの方針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none">ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none">全科目のうち専門科目の割合は、1年（24%）2年（55%）3年（62%）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41%）3年（48%）となる。専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none">専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことができる生徒。

石川県立小松工業高等学校 材料化学科

学校基本情報（令和8年5月1日現在）

設置学科	材料化学科	在籍生徒数（全校生徒数）	95人（597人）
住所	〒923-8567 石川県小松市打越町丙67		
電話	TEL 0761-22-5481		
○特色ある教科や授業			
1～3年「工業化学」：3年間を通して、化学工業に関する基礎的な知識と技術について学習する。 2～3年「実習」：有機合成、成型加工、環境分析、機器分析、プラント、3DCAD等を実習する。 3年「課題研究」：材料化学に関する課題設定から課題解決に至るまでの協働による探究活動を行う。			
○学校行事			
(1学期) 遠足、新体力テスト、壮行式（総体・総文・野球部等）、工場見学、球技大会 (2学期) 体育祭、修学旅行、インターンシップ、マラソン大会、工業祭、球技大会 (3学期) スキー実習、課題研究発表会、球技大会			
○部活動			
(運動部) 陸上競技・卓球・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・山岳・バドミントン 柔道・弓道・ソフトテニス・テニス・ウエイトリフティング・ボウリング・少林寺拳法・野球 (文化部) 新聞・美術・放送・吹奏楽・茶道・インターアクト・将棋 (工業部) 機械研究・電気情報・建設・材料化学			
○進路状況			
(令和7年度卒業生の主な進路先) 就職: EIZO(株)、大阪有機化学工業(株)、(株)オンワード技研、(株)北日本テクノス、小松ガス(株)、(株)小松製作所粟津工場、小松マテール(株)、ジェイ・バス(株)本社小松工場、伸晃化学(株)、(株)ソディックエフ・ティ EMG 事業部、高松油脂(株)北陸工場、帝人フロンティアニッティング(株)、(株)東振精機、東レ(株)石川工場、日本郵便(株)北陸支社、根上工業(株)、(株)ビーケープラス、(株)別川製作所、北陸中部自動車学校(株)、自衛隊 進学: ESP エンタテインメント東京、アミューズメントメディア総合学院、石川県調理師専門学校、大原簿記法律観光専門学校金沢校			

3 つ の 方 針

○このような生徒を求めています（生徒募集方針）
<ul style="list-style-type: none"> ものづくりに興味関心があり、意欲的に学習に取り組むことのできる生徒。 規則正しい生活を送り、自らの健康を管理することのできる生徒。 中学校時代に部活動や学校行事に熱心に取り組んだ生徒。
○このような学びを行います（教育課程編成・実施方針）
<ul style="list-style-type: none"> 全科目のうち専門科目の割合は、1年（24%）2年（55%）3年（62%）に設定。ただし、進学希望者は共通教科の科目選択により、2年（41%）3年（48%）となる。 専門科目の座学及び実習を通して、専門分野に関する基礎的な知識・技能を習得する。 全学年を通して「探究活動プロジェクト」を実施し、思考力・判断力・表現力等を育成するとともに、主体的に学びに向かう力、人間性等の涵養を図る。 企業見学・企業実習等の体験的な活動や専門の資格・検定試験の取得に積極的に取り組む。
○卒業までにこのような生徒を育てます（生徒育成方針）
<ul style="list-style-type: none"> 専門技術の錬磨を図り、積極的に学習に取り組み、諦めずに学習する態度を身に付けた生徒。 協働的な学習活動の中で、探究心を持ち、創意工夫して、自分の考えを発言できる生徒。 自ら目標を設定したり、問題を発見したりし、目標の達成や問題の解決に向けて、粘り強く取り組むことのできる生徒。